

# 学習課題(小学校3年生)



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

- 〈学習内容〉 ※ノートか取組シートに書きましょう。  
 ◆「ありの行列」（教科書⑨95～104 ページ）に取り組みます。

この学習では、**お話を読んで引きつけられた（強くきょうみをもった）ことや、もっと知りたいことを文章に書きます。**前回と同じく、『はじめ』『中』『終わり』の大きなまとまりや、『つなぎ言葉』をとらえながら学習しましょう。



- (1) 『はじめ』から、文章全体の問いを見つけ、書きましょう。
- (2) (1)の問いに対する答えの部分を見つけ、書きましょう。
- (3) 『中』から、**こそあど言葉**（「これ・それ・あれ・どれ」「この・その・あの・どの」など）を見つけ、それぞれ何を表しているか書きましょう。
- (4) 『中』から、**つなぎ言葉**（「まず」「そして」「さいごに」など）を見つけ、教科書に線を引きましょう。また、つなぎ言葉は段落のどの部分に書かれているか、確かめましょう。
- (5) 「ウイルソンが、どのように研究を進めたのか」「ありが行列を作る仕組み」を短くまとめましょう。

問いは「なぜ」、答えは「ので」、「わけ」という言葉がありますね。



ありが行列を作る仕組み	ウイルソンが、どのように研究を進めたのか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・はたらきありは、えさを 見つけると…。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありの巣から少しはな れた所に、さとうをおい た。 さとうをおいてできたあ りの行列の道すじに…。</li> </ul>

まとめかたの例

- (6) 「ありの行列」と101ページ「もっと読もう」を読んで、引きつけられたことや、もっと知りたいと思ったこと、考えたことを、103ページ **4**感想のれいをお手本にして、書きましょう。
- (7) 書いた文章をおうちの人に読んでもらい、感想を聞かせてもらいましょう。

◆「つたわる言葉で表そう」（教科書㊦105～108 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 105～108 ページを読みましょう。
- (2) 下の例をさん考<sup>こう</sup>に、①から③のそれぞれの文を、「だれが」「いつ」「どこで」「だれ(何)と」「どうして」「どのように」を入れて、様子や気持ちを相手がより思いえがける文にしましょう。

例) もいわ山でスキーをして、とてもかんげきした。

⇒ **日曜日に、もいわ山で今年最後のスキーをした。今まで全力でれん習したので、きょう年苦ろうしたコースがもの足りなく感じるくらいじょうずにすべることができて、とてもかんげきした。**

- ① 地下鉄にのって、買い物をした。
- ② きのも、友だちと公園で遊んだ。楽しかった。
- ③ お母さんにほめられたので、うれしかった。



「だれが」「いつ」「どこで」「だれ(何)と」「どうして」「どのように」これらをすべて入れるひつようはありませんが、このような見方をきっかけにして、くわしく言葉で表すことができないかを考えてみましょう。

- (3) 冬休みやさいきんのことを思い出して、心にのこった出来事とそのときの気持ちを書きましょう。  
※二百字を目ひように書きましょう。157 ページ「言葉のたから箱」にある言葉もさんこうにしてみてください。
- (4) 書いた文章のないようがつたわるような題名を考えましょう。
- (5) 書いた文章をおうちの人に読んでもらい、感想を聞かせてもらいましょう。

【書写】＜漢字の筆使い ～木～「左はらい」「右はらい」＞

※習字道具の用意がむずかしい人は、<sup>えんぴつ</sup>鉛筆で書いてみましょう。

- (1) 教科書 21～22 ページを読み、はらいの書き方についてかくにんしましょう。
- (2) 始筆・送筆・終筆をいしきして、お手本を指でなぞりましょう。
- (3) すみをつけていない筆をもって、お手本を筆でなぞりましょう。
- (4) 筆にすみをつけて「木」を書きます。21～22 ページ「たいせつ」をさん考にして書きましょう。



＜漢字の筆使い ～小～「点」「はね」＞

- (1) 教科書 24 ページを読み、点・はねの書き方についてかくにんしましょう。
- (2) 始筆・送筆・終筆をいしきして、お手本を指でなぞりましょう。
- (3) すみをつけていない筆をもって、お手本を筆でなぞりましょう。
- (4) 筆にすみをつけて「小」を書きます。24 ページ「たいせつ」をさん考にして書きましょう。

◆教科書⑩81～92 ページの新出漢字（「島」～「羊」）を練習します。

- (1) 155 ページを見て、ひつじゅんを指で書いておぼえましょう。
- (2) 読み方、使い方を声に出して言ってみましょう。
- (3) 出てきた漢字を使って、文を作り、ノートに書きましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・「つたわる言葉で表そう」では、自分の考えとその理由や事例を文章や会話の中で使うことを目指して学習します。(3)は取組シートを使用する場合、方眼シート(低学年用)一枚で約百字となりますので、目安としてください。
- ・書写の学習は、教科書の二次元バーコードを読み取ると、動画で筆の運びなどを視聴することができます。
- ・半紙や墨など習字道具の用意が難しい場合は、硬筆の学習に取り組んでください。